

令和3年度 第3回大府市協働推進委員会 会議録

開催日時 : 令和3年11月10日(水)午後5時30分から午後7時00分まで
開催場所 : 大府市役所 2階 201、202会議室
出席者 : 中村委員長、天野副委員長、藤井委員、山川委員、鈴木委員、
深谷(亮)委員、山内委員
昇協働推進助言者
事務局(部長、課長、係長、主事)の計12名
欠席者 : 野川委員、深谷(太)委員
傍聴者 : なし

(司会・進行:協働推進課長)

1 あいさつ(委員長)

新型コロナウイルス感染症について、急激に感染者数が減少している。しかし、完全に終息したわけではないので、皆様も感染症対策を続けていただいているかと思う。名城大学が女子駅伝で5連覇し、テレビを観るだけで元気をいただいている。本日の議題について、忌憚のないご意見をいただきたい。

2 議題

- ・大府市民活動センター令和2年度実績及び令和3年度事業進捗状況並びに令和4年度事業計画(案)について
 - 大府市民活動センター令和2年度実績及び令和3年度事業進捗状況並びに令和4年度事業計画(案)について、資料を用いて事務局から説明。

【質疑応答】

助言者:新型コロナウイルス感染症をきっかけに、改善されたことがあれば教えていただきたい。

事務局:以前は動画やSNSをあまり使用せず、対面方式の活動を中心に行っていたが、コロナ禍により動画やSNSを活用する機会が増えた。ウェブ会議は言葉にすると簡単だが、アプリとは何か、どのようにインストールするのかといった基礎をご存じない方も多いため、会議環境を整えることに苦労した。ミニ団体交流会「ゆるっとコラボ展」で行った、動画を作成して見てもらうという方法は、コロナ禍がなければ採用しなかったが、これは市民活動団体が動画やSNSの必要性を知る機会の創出にもつながった。

助言者:新型コロナウイルス感染症終息後は、以前の対面を中心とした活動方法に戻るのか。それともウェブ会議システム等を活用した新しい活動方法と併用していくのか。

事務局:コロナ禍以前の対面方式とウェブ会議システム等を併用し、ハイブリット方式で事業を行っていききたい。11月に実施予定の動画作成講座にも多くの申込があり、市民活動団体の動画作成への関心は高い。今後ますます電子媒体の活用が進むのではないかと考えている。

委員:100名以上が集まる大規模イベントについて、コロナ禍の経験を生かした開催方法に変わるのか。大規模イベントの実施方法について

何かイメージしていることがあれば教えていただきたい。

事務局：令和2年度のコロナまつりは中止となったが、なんとか実施したいという想いで、どのような感染症対策をすれば実施できるか直前まで協議を続けていた。令和3年度は、昨年度考えた実施方法を踏襲し、例えばマスク・フェイスシールドの着用、来場者の検温・名簿作成といった感染症対策を行った上で実施する予定。コロナまつりの規模については、例年積極的に行っている市民活動団体への声掛けを、開催案内の送付のみとし、積極的に参加を希望する団体のみ絞って参加していただこうと考えている。

事務局：市民活動センターの事業の実施については、本市の方針に沿って、感染状況を踏まえて判断している。定員についても、皆様に感染が広がらないよう、協議の上で統一させていただいている。市として足並みをそろえ、その時々状況における最大限の方法で事業を実施しているので、ご理解いただきたい。

3 その他

- ・市民活動の意味及び市民と行政の関係について（講話：助言者）

—以上—